

自律性強化プログラムのご提案

2019年12月

システム企画研修株式会社

当ご提案の背景

昨今は働き方改革の残業規制強化等により、研修時間を確保することが極めて困難になっております。



他方、社員の能力強化の必要性は、ビジネス環境の変化によりますます大きくなっているのです。



この窮状を何とか打開しないと、どこの会社も社員もじり貧で、いずれ中国や米国の企業に淘汰されてしまいます。

- ▶ SZK（少しずつ刻む）シリーズは 研修時間を細切れにすることによって **密度の濃い研修を業務時間の中にもぐりこませようとするもの**でございます。
- ▶ このご提案の研修で利用いたします手法等は、これまで**数多くの実践で有効性が保証されているもの**でございます。



自律性を強化する意義とその環境づくり

- ❖ 自律性の本質は「自分の考えで行動する」ことです。
 - 自律性の反対は、受身で「言われたことだけする」という姿勢です。
 - 自律性の欠如は、自分の頭を使わないということですから、そういう人はいずれロボットやAIにとって代わられてしまいます。
 - そうなってからでは遅いので、識者は心配しておられるのです。
 - ご提案の当プログラムでは、本人たちも自覚していないかもしれない自律性の欠如に気づきを与え、自ら考える方向に導こうとするものです。
- ❖ 当プログラムの冒頭ではグループ討議によって、自律性の必要性を自ら認識していただきます。
 - 自律性とは何か、どの層の自律性が低いのか、なぜ自律性が低いのか、自律性が低いとなぜダメなのか、なぜ自律性が低いのか、自律性を高めるにはどうしたらよいか、等を自由に討議いただきます。
 - この討議によって、討議内容に対する気づきを得ていただくだけでなく、仲間意識をも強化していただいて、「自律性発揮」の環境づくりをします。

自律性強化プログラムのご提案

1. 当プログラムの「目的・ねらい」(Why)

(1) 当プログラムの実施目的

- 1) 当プログラムご参加者に、自律性の必要性を再認識していただきます。
- 2) 自立性の基本である「自分で考える」ことの第1歩としての「なぜかを考える」方法を学んでいただきます。
- 3) 「自分で考える」ことの第2歩としての「どうするかを考える」方法を学んでいただきます。
- 4) 学んだことを実践していただくことによって、自律性の有効性とその対策方法を習得していただきます。

(2) 当プログラムのねらい

- 1) ご参加者の和を強化していただきます。
- 2) ご参加者が相互を意識して、自律性を高めていただくことを期待いたします。
- 3) 当プログラムご参加者の中から、優れたリーダーが続出することを期待いたします。
- 4) お客様から「行き届いたサービスを提供いただいている」と言ってもらえるようになります。
- 5) お客様、御社、社員の「三方良し」を実現していただきます。

2. 当プログラムの内容 (What)

- ❖ 次頁をご参照ください。

3. 当プログラムのご対象者 (Where)

- ❖ 職種不問です。
- ❖ 1クラス15人までとします。
- ❖ 1クラスは同年代またはせいぜい上下3年まで。

4. 当プログラムの実施方法 (How)

- 1) 1回2時間で実施します。時間帯は自由に設定いただきます。
- 2) 御社内で実施いたします。場所をご準備ください。
- 3) 第3回と第4回の実践の際には、研修時間の不足を補うため添削指導をいたします。
- 4) 講師に対する質問・相談も随時受け付けます。



5. 当プログラムの実施時期・期間 (When)

- ❖ 第1回～第3回の間隔は2週間以内としてください。
- ❖ 第3回と第4回の間隔は2か月を標準とします。
- ❖ 講師側と日程調整してください。

6. 当プログラムの担当講師

- ❖ 当面は上野則男が担当します。

7. 当プログラムの実施料金 (How Much)

- ❖ 研修料金は4回込みで70万円です(消費税別)。
- ❖ 添削指導およびテキスト代込みです。
- ❖ 第4回が人数の関係で2回になっても同一料金です。

お問い合わせ

システム企画研修株式会社

電話：080-1169-3667

mind-pc@newspt.co.jp

自律性強化プログラムのご提案

2. 当対策の内容 (What)

- ❖ 御社内での1回2時間の研修により実施させていただきます。

第1回 自律性の必要性を考える

- ❖ 自律性の現状、自律性の必要性、自律性が低い原因、自律性を高める対策等について、自由にグループ討議をしていただきます。



第2回 「自分で考える」の第1歩「なぜか？」を考える

- ❖ 目的を考えることの重要性の解説をします。
- ❖ 「改善目的検討ワークシート」で、自分の業務の改善について考えていただきます。



第3回 「自分で考える」の第2歩「どうするか？」を考える

- ❖ 自分の業務の改善目的を絞ったうえで、その業務の改善方法を各人で検討いただきます
- ❖ 改善目的パターン別の問題解決テンプレートをご提供いたします。
- ❖ 検討結果は、講師が通信添削をいたします。



第4回 実践報告会

- ❖ 第3回の検討結果により、ご自分の業務を実際に改善していただきます。
- ❖ 標準2か月をおいて実践結果の発表をしていただきます。
- ❖ ご参加人数により分割実施いたします。



自律性強化プログラムのご提案

パターン別問題解決テンプレートの例（「仕事楽しくない」の場合）

